



華やかなお祝いの席となりました（P2～3、P8をご覧ください）

やすらぎ

題字：高橋ノブさん筆（特養住民）

No. 61

2013 秋号

平成25年10月15日発行

主な内容

法人開設15周年記念式典・祝賀会	P 2～3
ふなの園住民の健康を祝う集い	P 4
新しい職員のご紹介	P 4
秋の彼岸法要	P 5
デイサービス利用者作品紹介	P 6

社会福祉法人やすらぎ会

開設15周年記念

今年はやすらぎ会開設15年の節目の年。これまで様々な方面からご指導、ご支援いただいた皆様に感謝の意を込め、そして、今後も変わらぬお力添えを頂戴しながら歩みを進めていくために、9月29日に開設15周年記念式典並びに祝賀会を開催しました。会場の沢内バーデンには、60名を越える関係各位にご臨席賜っております。

◆記念式典◆

式典は午前11時開始。理事長の式辞の後に、やすらぎ会の初代及び第二代理事長に感謝状が贈られました。不安定な福祉情勢の中で、法人運営の第一歩をしつかりと築かれた功績は多々です。感謝状と記念品は、理事長から敬意を込めて贈呈されています。続いて西和賀町長、西和賀町議会議長のお二方より祝辞をいただき、祝電をご披露して式典の部を閉じております。

記念式典・祝賀会開催

社会福祉法人やすらぎ会の沿革

年	月日	主な事項
平成9年	11月10日	社会福祉法人やすらぎ会設立登記
	11月12日	初代理事長 内記正志 就任 初代施設長 上野米子 就任
平成10年	2月21日	ぶなの園 落成式典開催
	4月1日	沢内村特別養護老人ホームぶなの園開設 受託経営 沢内村デイサービスセンターぶなの園 認知症専用 受託経営 沢内村ホームヘルプサービス 社会福祉協議会より事業移管 受託経営 沢内村在宅介護支援センター 受託経営 沢内村老人短期入所事業 受託経営 沢内村高齢者生活福祉センターかたくりの園 沢内村より受託経営
平成11年	4月1日	高齢者生活福祉センターかたくりの園 沢内村より事業移管
	11月29日 12月3日	初代理事長 内記正志 退任 第二代理事長 深澤貞夫 就任
平成12年	4月1日	介護保険法施行に伴い岩手県より事業所指定を受ける 居宅介護支援事業所：西和賀介護相談室 訪問介護：ホームヘルプステーションぶなの園 通所介護：デイサービスセンターぶなの園 通所介護：デイサービスセンターかたくりの園 短期入所生活介護：ショートステイぶなの園 介護老人福祉施設：特別養護老人ホームぶなの園 事業委託：生きがい活動支援通所事業 沢内村より受託 事業委託：配食サービス事業 沢内村より受託
平成13年	11月26日	社会福祉法人やすらぎ会評議員会設置
平成15年	4月1日	支援費制度施行に伴う指定居宅介護事業の開始
	10月31日	初代施設長 上野米子 退任
	11月1日 12月28日	第二施設長 高橋一雄 就任 高齢者生活福祉センターかたくりの園温泉給湯排水設備完成
平成18年	2月1日	一般用旅客自動車運送事業 運輸開始
	4月1日	障害者福祉サービス事業開始（居宅介護ホームヘルプサービスぶなの園）
平成19年	3月31日	在宅介護支援センターの設置廃止
平成20年	9月21日	社会福祉法人やすらぎ会創立10周年記念式典祝賀会開催
平成21年	4月1日	西和賀町より建物及び備品等の無償譲渡を受ける 西和賀町より土地の無償貸与を受ける
	12月2日	第二代理事長 深澤貞夫 退任 第二施設長 高橋一雄 退任
	12月3日	第三代理事長 高橋一雄 就任 第三施設長 米澤一男 就任
平成23年	5月31日	第三施設長 米澤一男 退任
	6月1日	第四施設長 平川縫子 就任
平成25年	9月29日	社会福祉法人やすらぎ会開設15周年記念式典祝賀会開催

◆祝賀会◆

祝賀会では潤沢会の坂巻理事長より祝辞をいただいた後、15年の節目を祝って声高らかに乾杯。アトラクションとして、民謡で輝かしい功績を持つ「小松会」の皆様がステージをご披露いただきました。素晴らしい唄や踊りで会場はおおいに盛り上がり、アンコール

にも快く応えていただきました。式典や祝賀会には職員も数名、スタッフとして参席させていただきました。多くの方から励ましが、期待の言葉を頂戴しております。そのご期待に応えられるよう決意を新たにしました。15周年記念事業でした。



内記初代理事長に感謝状贈呈



祝辞を述べる佐々木町議会議員



乾杯のご発声は真壁家族会会長



和やかな時間が流れた祝賀会



社会福祉法人やすらぎ会
理事長 高橋一雄

『開設15周年を迎えて』

社会福祉法人やすらぎ会は、皆さまに支えられて15周年を迎えることができました。利用者、ご家族の皆さまをはじめ多くの方々のご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

高齢者をめぐる福祉環境は年々厳しく、深刻になってきております。高齢者のみの世帯、二人とも認知症の心配のある方々が身を寄せ合って暮らしているとか、一人暮らしのため社会参加がままならない。あるいは孤独死等々、非常に厳しい環境にさらされております。そうした中で、24時間必要なサービスを受けられる特別養護老人ホームをはじめ、施設に対する人々の期待は誠に大きいものがあります。

新しい時代を牽引する社会福祉法人の姿が問われる中、既存サービスの幅広く手厚い展開をもって、多様な要介護ニーズに添えていくとともに、地域住民の暮らしに寄り添ったインフォーマルなサービスを創造することが求められております。

自らの果たすべき使命を改めて見つめ、高齢期の安心をもたらす地域の拠点施設として更なる充実を図りながら経営して参ります。

すぐ隣りにあった病院が遠くになります。多くの利用者は残念に思っております。隣地にあることから連携が密で、常に健康状態を把握していただき安心でありました。遠くになっても協力病院として、これまで以上のご指導をお願い申し上げます。

人間尊重の理念の基、心豊かに、品性を高め、コミュニケーション能力の習得に努め介護サービスの向上を図って参ります。そして、地域の声を大切に、地域とともに発展をめざして参ります。

利用者の皆さま、地域の皆さま並びに関係者の皆さまに感謝の意を表しますとともに、今後ますますのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年度 ぶなの園

住民の健康を祝う集い

9月18日気持ちよい秋晴れの日、ぶなの園住民の健康を祝う集いが開催されました。

式典ではご来賓の方々からのご祝辞や祝電のご披露があり、その後に健康長寿お祝いして住民の皆さんに記念品が贈呈されました。記念品はやすらぎ会と西和賀町から、さらに給食業者の富士産業様からは、全住民に紅白まんじゅうをいただいております。



法人より記念品贈呈

乾杯で賑やかにスタートした祝賀会、こちらのメインは余興です。まずは貝沢の椛本春美さんに楽しいマジックを見せていただきました。今年4月にぶなの園職員の結婚披露宴で親類としてマジックを披露された椛本さん。それがあまりにも素晴らしく、ぜひにとお願いをしてご出演いただきました。マジックは勿論、トークもおもしろくて大好評、本物のマジシャンのような衣装も素敵でした。続い



会場を湧かせた本格的なマジックショー



また1年健康で暮らせるよう乾杯！

てはせんだん保育所の子どもたちによる歌や踊りのステージ。かわいくて元気で、できれば毎日見ていたいくらいです。

今年の「健康を祝う集い」も、おかげ様で住民の皆さんにゆつくりと楽しんでいただくことができました。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。



本当に楽しいひとときでした

秋の彼岸法要

ぶなの園では毎年春と秋に彼岸法要を行っております。今年の秋の法要は9月20日、浄円寺の廣田宏住職に來園していただきました。

交流スペースでお経をあげていただき、職員が香炉を持って特養住民お一人おひとりまわります。住民の皆さんはゆつくりと焼香をしながら、亡くなった親族やご先祖様、あるいはぶなの園の仲間を思い出していたことでしょうか。故人を偲ぶ彼岸法要は、住民にとって大切な催しの一つです。



やすらぎ会 夏祭り



夏祭り当日、お昼ころからの大雨と雷には利用者も職員もげんなり…。雨を予想して朝からテントを増設するなど準備は進めていたものの、直前にここまで悪天候だったことはありません。衣装を汚してしまうことを懸念し、「やよい会」様には泣く泣く出演見送りの連絡を入れることに…。残念でなりませんでした。

このまま外で開催していいものか悩んでいるうちに少しずつ雨が回復。開始時刻にはすでに雨が上がり、いつも通りのどんよりした雲の下でスタート。晴天ではありませんが、気持ち的には晴天に恵まれたよううれしきでした。

昨年に引き続き百年座とワークステーション湯田・沢内の皆さんによる太鼓で幕開け。見ごたえ聴きごたえのある演奏で、客席からのアンコールにも快く応えていただきました。特養住民による「まめでらが音頭」の踊りには、駆けつけてくれたばかりのカタクリンコちゃんにその場で出演交渉、というよりむりやり一緒に踊ってもらいました。おかげで大変盛り上がったステージになりました。

一番うれしかったのは今年もさんさの大きな輪をつくることができたこと。雨なら諦めるしかあり

ませんでした。さんさの太鼓や唄を聴くと、西和賀の夏を全身で感じます。もちろん抽選会も大盛況でした。結局祭りの時間帯は雨が落ちてくることはなく、楽しい余韻を残して閉幕。ご来場くださった皆さん、ご協力くださった皆さんに感謝、感謝です。



新しい職員のご紹介



氏名：古川光範
職種：看護職員
所属：特養ぶなの園
出身：青森県
(大船渡育ち)

趣味：ランニング
特技：自慢できるものはありません

『今日も皆様の信頼を裏切ることなく、1日も早く慣れるよう仕事に行ってきま〜す♪』

とびだせ芸術! 『ステキな作品見てほしい』のコーナー
 デイサービスぶなの園利用者の作品紹介

●制作のようす



●作品名『秋のおくりもの』



今年度は季節に合わせた作品づくりに取り組んでおります。秋と言えば西和賀でもよく見かける風景の栗、コスモス。そしてやっぱり、おいしいブドウですよね。利用者の皆さんで協力し合って作り上げました。作品の題字も利用者の方に書いていただき、温かみのある作品に仕上がっています。春はさくら、夏はひまわりを作っています。文化祭で展示しますので、ぜひ足を運んでいただければと思っております。



■年間を通して多くの方よりリネンの交換、洗濯物の整理、清掃作業、草刈り等のボランティアをしていただき感謝しております。■昨今、ボランティアがブームと言われておりますが、どのような行為が「奉仕活動」で、どうなったら「おせっかい」とか「趣味」になるのか線引きが難しいし、統一感がない。定着したようで、まだ文化として位置づいてないのが現状のように思う。■わが国では1995年の阪神・淡路大震災の年をボランティア元年と位置づけ、地震のあった1月17日を「防災とボランティアの日」としています。■ボランティアの三原則は「自発性、無償性、利他性」です。つまりボランティアとは「自らすすんで、利益を求めず、他人あるいは公共のために、自分の貴重な時間や労力を差し出す行為」であります。■ボランティア活動の盛んになることを願っております。

和賀川
 30
 理事長 高橋 一雄

吉田栄養士の
 なるほど
 今回の注目食材…『鯨』
 まめ知識 6

鯨の効果・効能

鯨の肉は優れたたんぱく源であり、さらに血液に不可欠な「鉄」や、免疫力を向上させる「ビタミンA」も豊富です。独特の油成分DPAが含まれており、その含有量は魚の10倍!鯨の肉の中でもっともDPAが多いのが鯨ベーコンで、動脈硬化を予防する働きがあります。鯨ベーコン+ゴマ油の組み合わせは、ご飯と一緒に食べると高血糖を抑え糖尿病の予防効果も得られます。

鯨の赤肉を汁物にして摂取すると認知症予防に効果あり!貝類を加えればさらに神経細胞の再生が活発になります。また鯨の赤肉をミディアムレアで食べると、肥満や疲労予防効果を最大限に活かすことができます。

おすすめレシピ

鯨汁

- 【材料】
 塩鯨
 豆腐
 人参
 大根
 じゃがいも
 ねぎ
 みそ、酒、みりん
- 【作り方】
 1、塩鯨は湯通ししておく。
 2、人参と大根はいちよう切り、ねぎはななめ切り、じゃがいもと豆腐は食べやすい大きさに切っておく。
 3、鍋に水を入れ、湯通しした鯨、人参、じゃがいもを入れて火にかける。
 4、沸騰したらアクをこまめに取りながら大根、豆腐を入れる。
 5、材料に火が通ったらみそ、酒、みりんを入れて味付けをし、最後にねぎを入れてひと煮立ちしたら出上がり。

あしあと
 法人の主な動き

- 【6月】
 1日 沢内小運動会観覧
 4日 出張理容
 5日 課長会議
 6日 住民心電図検査
 14日 さなぶり祭り
 16日 家族会環境整備作業
 19日 金沢伏見高校交流訪問
 25日 ホーム喫茶
 26日 広報やすらぎ発行
 26日 回転寿司ツアー
- 【7月】
 2日 役員視察研修
 出張理容
 課長会議
 3日 第三者評価職員説明会
 4日 七夕まつり
 5日 第三者評価職員説明会
 8日 おおしま出張販売
 9日 沢内中職場体験
 10日 沢内中職場体験
- 【8月】
 1日 課長会議
 5日 民児協施設見学
 6日 出張理容
 8日 手打ちうどんを打つ会
 9日 納涼花火大会
 9日 入所検討委員会
 16日 舟っこ流し観覧
 21日 サービス情報公表調査
 (デイぶな、かたくり)
 27日 ホーム喫茶
 28日 介護保険実地指導(特養、ショート、ホームヘルプ)
- 【9月】
 1日 防災の日メニュー
 3日 出張理容
 課長会議
 6日 地域密着型サービス実地指導(デイぶな)
 18日 住民の健康を祝う集い
 入所検討委員会
 20日 秋の彼岸法要
 23日 全国沢内甚句大会観覧
 25日 盛岡医療福祉専門学校
 交流訪問
 29日 法人開設15周年記念式典
 祝賀会
 30日 26年度職員採用試験

□特別養護老人ホーム ぶなの園

□デイサービスセンター ぶなの園

□ホームヘルプステーション ぶなの園

□西和賀介護相談室

西和賀町沢内字太田2地割135番地

電話 0197-85-2322

FAX 0197-85-2317

Eメール bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp

□高齢者生活福祉センターかたくりの園

西和賀町沢内字大野17地割140番地1

電話 0197-85-3388

FAX 0197-85-3389

(発行・編集)

社会福祉法人やすらぎ会

広報委員会

平成25年6月11日～9月30日

【ご寄付】

- ・佐藤英樹様
- ・富田弘様
- ・岩手県理容生活衛生同業組合
北上支部沢内地区様
- ・湯澤義晴様

【ご寄贈】

- ・西和賀町婦人連絡協議会様
- ・高橋富美子様
- ・佐藤英樹様
- ・佐々木信男様
- ・藤田重信様
- ・八重樫毅様
- ・西和賀町商工会女性部様
- ・菅原悟様
- ・猿橋昭一郎様
- ・小野寺聡様
- ・刈田ミワ子様

【ボランティア等】

- ・どれみの会様
- ・(株)エキスパート様
- ・特養家族会様
- ・佐々木エリ子様
- ・おはなしきらきら様
- ・猿橋さくら会様
- ・太田婦人会様
- ・照井悦子様
- ・SAKUTTOクラブ様
- ・長瀬野婦人会様
- ・高橋セツ様
- ・橋本舞踊劇団様
- ・高橋昭土様
- ・高橋和子様
- ・山中紅香様
- ・川舟婦人会様
- ・高橋正慶一座様
- ・刈田ミワ子様
- ・柿澤和子様
- ・泉川フヨ様

あたたかい善意を頂戴し
厚くお礼申しあげます

表紙の写真

法人開設15周年記念祝賀会にステージ出演していただいた「小松会」の皆様。会主の小松正宏さん(北上市)は、民謡の数々の全国大会で優勝している実力の持ち主です。耳だけでなく、心の奥にまで響くような重厚な唄声に魅了されました。今度はぶなの園に訪問して披露して下さるとのことで、大変楽しみにしております。



編集後記

今年の十五夜のお月さまは、まさに名月でしたね。おつききてまんまるでまぶしくて、とても美しかったです。沢内の子どもたちにとってこの日は年に一度のお楽しみの日、「豆つこ盗み」です。我が家の娘たちも意気揚々と出陣しました。豊作を祈願し、お月さまへのお供え物として縁側に団子や豆を置く。そうした古人の発想がまた美しいですよ。子どもたちはきつとそれをお月さまに届けてくれているでしょう。重くなった袋を抱え満面の笑みで帰った娘たち。すぐに胃袋に納めていました。

W・T